

全国肢体不自由特別支援学校PTA連合会

(発行)

第113号
(総会特集号)

平成27年3月31日発行

会報

全国肢体不自由特別支援学校PTA連合会
〒105-0012 東京都港区芝大門1丁目10番1号
(全国たばこビル内6階)
電話 (03) 6721-5710
FAX (03) 6721-5711
ホームページアドレス <http://www.zsp.jp/>

一年間どうもありがとうございました。

全国肢体不自由特別支援学校PTA連合会

会長 坂 ますみ

(東京都立光明特別支援学校PTA会長)

平成26年度も無事終わることができました。この会報が皆さまのお手元に届くころには新年度を迎えていらっしゃることでしょう。

さて平成26年8月21日～23日に開催されました。愛媛大会へは大勢の皆さまにご参加いただきありがとうございました。総会特集号で報告されましたように、約400名余りにおよぶ参加者を迎え、分科会では熱い研究討議が交わされ盛況のうちに終わることができました。

子供たちの充実した共生社会を実現させるために、私たち全員が現在の課題や問題に取り組み、前向きに努力していきたいと考えている所存です。これからも会員の皆さまのご協力を宜しくお願いいたします。



平成26年全国心身障害児福祉財団事業 【国庫補助事業】

《保護者研修会》

○本部 平成27年1月15日(木)

会場 国立青少年教育振興機構国立オリンピック記念
青少年総合センター

参加者 60名

テーマ① 「ハンドサッカー」の競技内容とルールについて

テーマ② 「ハンドサッカー」の実技演習

講師 東京都立墨東特別支援学校

校長 三浦浩文氏

レポート 全肢P連本部

ハンドサッカーは既存の競技では十分に対応しきれない様々な実態の障害を持つ子供に合わせ、活動の場を広げるために東京都肢体不自由特別支援学校の体育の先生

方が中心に実践を通して考え、ルール作りを行ってきました。毎年2月に東京都肢体不自由校で試合を行い26回目になります。これを全国に広めるために全国肢体不自由校PTAの保護者に呼びかけ協力を頂くための研修を行いました。





○近畿ブロック 平成 26 年 10 月 28 日(火)

担当校 和歌山県立南紀支援学校

会 場 南紀医療福祉センター大会議場

参加者 27 名

テーマ①「本校の自立活動・摂食指導について」

講 師 南紀特別支援学校

自立活動担当教諭 宮田直美氏

テーマ②「摂食機能の発達と援助」講演と実技指導

講 師 らく相談室 言語聴覚士 山崎祥子氏

リポート 和歌山県立南紀支援学校

学校での摂食指導の取り組みや摂食体制・調理方法について教えて頂きました。子供たちがおいしく安全に食べられるように工夫してくれていました。私たちは毎日特別意識せずに食事をしていますが、ほんの少し位置が違うだけで、とても飲みづらく食べにくいことがわかりました。



《ボランティア研修》

○関東・甲越ブロック 平成 26 年 10 月 4 日(土)

担当校 神奈川県立中原養護学校

会 場 神奈川県立中原養護学校

参加者 46 名

テーマ①「災害時にできること」

講 師 チャレンジドサポートプロジェクト

今泉修一氏

テーマ②「口腔ケアの大切さ」

講 師 川崎市歯科衛生士 藤井礼子氏

リポート 神奈川県立中原養護学校

震災になり雑然とした広い体育館に避難した時、長時間寝泊りし、生活しているとストレスを感じるためプライベートスペースを作る体験をしました。

材料はプラスチック段ボール、ガムテープ、マットなどを使い 1 グループ 10 人で自由に作りました。部屋を区切ったり、扉が付いたり屋根が着いたところもありました。

○中部ブロック 平成 26 年 12 月 9 日(火)

担当校 豊田市立豊田支援学校

会 場 豊田市立豊田養護学校アリーナ

参加者 36 名

テーマ①「ボランティアを身近に～こんな心遣い、スキルがあれば～」

講 師 NPO 法人ユートピア若宮 本木 光宣 氏
テーマ②「車椅子の介助方法」

講 師 NPO 法人ユートピア若宮 佐々木 真由美 氏
リポート 豊田市立豊田養護学校

12月9日、本校PTA主催で「ボランティア研修会」を実施しました。

近くの小中学校PTAの方、大学生、地域の方など、21名に参加していただきました。

午前中は、NPO法人 ユートピア若宮理事長 本木光宣さんに、ご自身が幸せと思うこと、望むことについてユーモアを交えて語っていただくことで、「福祉とは何か」について考えさせられました。

午後は、アドバイザーを務める本校のPTAが、「保護者の立場で介助者に望むこと、介助の留意事項」についてグループごとにお話しした後、学校の近くのお店に車椅子で買い物体験に出掛けました。買い物体験後の話し合いでは、実際に車椅子に乗ったり押したりを体験してみたことで、今まで気づかなかった多くのことに気づくことができたとの発表がありました。



障害がある人へのボランティアの心構えやスキルを知っていただく機会となったとともに、本校の子どもたちや先生方について知っていただく機会にもなる、和気あいあいとした雰囲気の充実した研修会とすることができました。



《親子ふれあいキャンプ療育事業》

○北海道・東北ブロック

平成26年7月25日(金)～平成26年7月26日(土)

担当校 青森県立弘前第二養護学校

会 場 青森ロイヤルホテル

参加者 49名

テーマ①「親子でリラクゼーション『アロマテラピー』」

講 師 AEAJアロマ環境協会

認定インストラクター 神 里 美 氏

テーマ②「障害のある子どもの身体『オムツ・ポジショニングについて』」

講 師 弘前大学医学部保健研学科

助教授 赤池あらた氏

リポート「親子ふれあいキャンプ」

青森県立弘前第二養護学校PTA

「アロマテラピー講習会では、子どもたちははじめドキドキしてましたが、足の肝臓、膀胱、便秘のツボ等を押してもらい、だんだん気持ちよくなり余裕の表情になってました。足にはたくさんのツボがあることを学びました。「排泄とオムツの研修」は身体にあったオムツを選ぶことポジショニングの大切さを学びました。



7月25日 参加者全員で記念写真

